

# 褥瘡危険度表示ラベル

OHスケールを用いて対象者が褥瘡になる危険度判定を行います。判定結果のラベルをベッドのフットボードなどに貼り付け、対象者に関する情報の共有化にお役立て下さい。

OHスケール 褥瘡危険度

## 高度

コンピューター制御  
エアマットレス

ヘッドアップ 30° 以上では  
★印のズレを解除しましょう！

病棟 ----- 様

ズレ力解除ケア研究会 会長 堀田由浩

OHスケール 褥瘡危険度

## 中等度

厚目高機能  
体圧分散式マットレス

ヘッドアップ 30° 以上では  
★印のズレを解除しましょう！

病棟 ----- 様

ズレ力解除ケア研究会 会長 堀田由浩

OHスケール 褥瘡危険度

## 軽度

上敷き汎用タイプ  
体圧分散式マットレス

ヘッドアップ 30° 以上では  
★印のズレを解除しましょう！

病棟 ----- 様

ズレ力解除ケア研究会 会長 堀田由浩

## OHスケールによる褥瘡危険度の測り方

| OHスケール |  |           |                 | 評価の仕方      | 点数                                 |       |
|--------|--|-----------|-----------------|------------|------------------------------------|-------|
| 1      | 自力体位変換<br>麻酔・安定度<br>意識状態の低下<br>(麻酔覚醒・薬剤) | できる<br>0点 | どちらでもない<br>1.5点 | できない<br>3点 | 完全に「できる」、完全に「できない」以外は<br>「どちらでもない」 | 点     |
| 2      | 病的骨突出<br>(仙骨部)                           | なし 0点     | 軽度・中程度 1.5点     | 高度 3点      | 判定器を使用して仙骨部を測定→下の図を参照              | 点     |
| 3      | 浮腫<br>(むくみ)                              | なし 0点     | あり 3点           |            | 指で5秒間押し、指を離してもへこみが消えなければ<br>浮腫あり   | 点     |
| 4      | 関節拘縮                                     | なし 0点     | あり 1点           |            | 関節拘縮のあるなしで評価                       | 点     |
| 合計     |  |           |                 |            |                                    | 点/10点 |

### OHスケールによるリスクのレベル分け

| 合計点数  | 危険度レベル           |
|-------|------------------|
| 0点    | リスクなし<br>(偶発性褥瘡) |
| 1~3点  | 軽度リスク            |
| 4~6点  | 中等度リスク           |
| 7~10点 | 高度リスク            |

### 病的骨突出の評価の仕方【堀田式骨突出簡易判定器を使用して評価してください】

【病的突出判定器の当て方】※仙骨部で測定します。

当て方 A 当て方 B 判定器を横にする

側臥位で脊髄に直角で突出部の中央に当てます。 平な面を当てるときには判定器を横にしてください。

正常 当て方 B 軽度 当て方 B

中程度 当て方 A 高度 当て方 A

※判定器の片脚が浮かない ※シーソー状で判定器の片脚が離れている